



## 検査における注意点

(検査前)

- ・ 単眼の固視状態をあらかじめチェックしておくこと。…顕性偏位を見る場合カバーにての動きの量を見て判断する為。 中心固視か偏心固視か？
  - ・ 日常眼位(顕性偏位の有無)を検査し、斜視眼を知っておくこと。…健眼をカバーして斜視眼の動きが見たい為
  - ・ 通常、屈折矯正はしておくこと。…固視できる充分な視力が必要な為

(検査中)

- ・検査手順はできるだけ分離効果の弱い検査法から行うこと。
  - ・検査直前及び検査中の長時間の遮閉は避けること。→なるべく日常に近い眼位で検査したい為

 考え方のチェックポイント

検査は全て自覚的検査(検査中の見え方)で、これを他覚的斜視角の検査との比較により網膜対応を明らかにする。

例) 斜視がある(OA) → 複視がない → 抑制 → どちらかの眼の像は消えている

—  
—  
—

→ HARC → どちらの眼も一応参加している

- ① 検査での見えかたはどうなっているか? **SA**
  - ② 検査中の眼位はどうなっているか? **OA**
  - ③ 各眼の網膜上のどの部位とどの部位との関係を調べているのか? **検査方法**

